

令和5年度 学校評価の考察と今後の取組について

相生市立矢野小学校

	評価の観点	児童 (%)				保護者 (%)				教職員 (%)			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
⑤	自分は、あいさつの大切さを説き、自らもあいさつしている。	66	26	8	0	33	53	14	0	70	30	0	0
⑱	学校は、全体に活気があり、明るく楽しい雰囲気である。	46	26	20	8	42	47	8	3	10	60	30	0

1 活気のある明るく楽しい雰囲気づくりに取り組む。

2 あいさつの響く学校づくりに取り組む。

※ コロナ禍の記憶は薄れつつあるが、児童への影響は残っている。今後も授業や学校行事を充実させ、満足感・達成感を味わわせたい。

積極的にあいさつができる児童を育てるために、児童会を中心にあいさつ運動を行うほか、特に登下校時には「ひとことプラスしてあいさつ」に教職員も取り組み、児童自らあいさつやコミュニケーションを図ろうとする雰囲気をつくりたい。

	評価の観点	児童 (%)				保護者 (%)				教職員 (%)			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
②	自分は、将来について指導している。	60	26	11	3	31	44	25	0	40	60	0	0
⑮	自分は、学習活動や不登校など生徒指導において、地域の幼稚園・小中学校と連携した教育をしている。					33	39	25	3	0	100	0	0

3 学校と家庭が連携したキャリア教育を推進する。

4 矢中校区一貫教育の取組や成果を発信する。

※ 学校だよりや「ともに輝け 矢野川の子」(矢中校区一貫教育啓発ポスター)等を家庭啓発に活用し、学校と家庭が連携して積極性、自立心、責任感等、将来の社会的・

職業的自立に向け基盤となる力を育てたい。

一貫教育では新たに中学校の教員による出前授業の実施を推進する。また若狭野小学校等との合同授業・遠隔授業に継続して取り組む。その成果を学校だよりやホームページで周知していきたい。

	評 価 の 観 点	児童 (%)				保護者 (%)				教職員 (%)			
		A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
⑧	自分は、地域のよさを伝える指導をしている。	60	31	9	0	36	47	17	0	40	60	0	0

5 地域のよさを児童から保護者に伝えていく。

※ 生活科や総合的な学習等での地域学習の成果をオープンスクールや学習発表会等で児童から保護者に伝える機会を設ける。児童のがんばりや活動の様子を含め、学校だよりや学級通信等でも伝えていきたい。